

AVC-50

NATURAL SOUND STEREO AMPLIFIER

取扱説明書



ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハ・ステレオアンプAVC-50をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

AVC-50の優れた性能を十分に発揮させると共に、長年支障なくご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますようお願いいたします。

特長

■豊富な入出力端子

お手持ちのビデオ、オーディオ機器のシステムアップに対応できるよう、オーディオ入力10系統、映像入力4系統、モニター出力2系統と、豊富な入出力端子を装備しています。またフロントパネルに1組の入力端子が備えてあり、パソコンやビデオデッキの接続に便利です。

■ドルビーサラウンド・システム搭載

自然な拡がり感が得られるナチュラルサラウンドはもちろんのこと、コンサートホールの臨場感をリアルに再生するホールサラウンドや、ドルビーサラウンドによってエンコードされた映画ソフトを劇場なみの迫力で再現するドルビーサラウンドを搭載しました。また、モノラルソースも拡がりのあるステレオ感いっぱいのサラウンドに変身します。


■85W+85Wハイパワーアンプ内蔵

フロントまたは、プレゼンス(サブ)スピーカーのどちらかを駆動する85W+85W 6Ω(EIAJ)のパワーアンプを内蔵しています。

■ビデオエンハンサー搭載

録画、ダビング時はもちろん、通常の再生時でも画質補正ができるビデオエンハンサーを搭載しました。細部まで美しい画像でお楽しみいただけます。

■トータルシステムリモコン(RS-AVC50)

AVC-50の入力切換やメインならびにサラウンドの音量もリモコンで操作可能です。また、AVC-50と  マークの付いた製品を組み合わせると、システムのほとんどの機能をリモコンで操作できます。

■フルダビングを可能にする映像独立、REC OUT SELECTOR

音声(SOUND)と映像(PICTURE)のそれぞれを独立して選択できるREC OUT SELECTORを装備しているため、お好みの映像と音声とをドッキングさせることができます。また、同時に2台のデッキに録音、録画できます。

目次

特長	1
豊かなAVライフのために	2
サラウンド効果について	
サラウンド方式について	3
ドルビーサラウンドについて	3
スピーカーの配置について	4
付属品の確認	5
各部の名称とはたらき	
フロントパネル	6
リアパネル	8
リモコンユニット(RS-AVC50)	11
接続のしかた	13
接続端子一覧表	19
再生のしかた	
オーディオソースの再生	20
ビデオソースの再生	21
録音のしかた	
テープデッキの録音	22
テープデッキのダビング	22
録画のしかた	
ビデオデッキの録画	23
ビデオデッキのダビング	23
サラウンドプロセッサの使い方	24
ビデオエンハンサーについて	
ビデオエンハンス効果について	25
ビデオエンハンサーの使い方	26
リモコンを使う前に	28
ブロックダイアグラム	29
故障かなと思ったら	30
参考仕様	31
ヤマハホットラインサービスネットワーク	32

豊かなAVライフのために

高温をさけて！

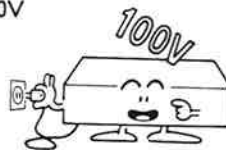


ほこり・水気をさけて！



国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V



不安定な場所をさけて！

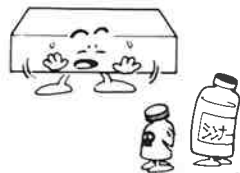


雷が近づいたら

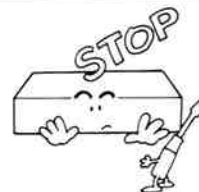


早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

薬物厳禁



開けないで！



引っぱらないで！



直射日光はさけて！



こわれた？



30ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



取扱説明書はかならず
保管してください。



ファイルなど

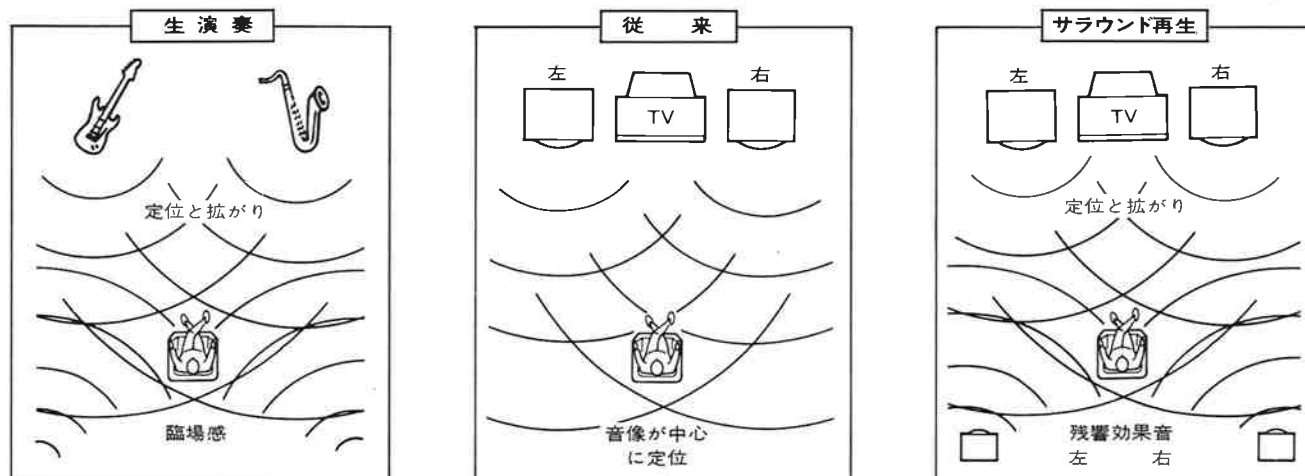
サラウンド効果について

■サラウンド方式について


普段、私達は周囲の音に囲まれて生活しています。音源から直接入る音、周囲の壁や床などに反射して入る音、さらには、人の声、自動車の音などに囲まれて生活しています。

また野球場などのスタジアムやコンサートホールでも、観客の拍手や歓声は、自分の周囲から聞こえてきます。

AVC-50は、この様に実際に聞こえる状態を可能な限り再現するために、スピーカーを前後左右（⇒4 ページ「スピーカーの配置について」）に配置して残響効果音を付加し、自然な臨場感を実現しました。さらに、AVC-50は、ソースに合わせた臨場感づくりも行なえるように、5つのプロセッシングモードを設けています。



■ドルビーサラウンドについて

 **DOLBY SURROUND**™ のマークは、ドルビーステレオ映画で使用しているドルビー・サラウンド・システムです。

このシステムは、ドルビーステレオならではの迫力と音響空間を作り出すためのドルビー独自のシステムです。

これらのビデオソフトはテープデッキのノイズリダクション効果とは異なり、明瞭な定位感と迫力のある重低音を再生できるように、特殊回路を設けてエンコード録音されています。これを再生する為に、本機はドルビーサラウンドデコーダーを搭載して、映画館と同じような音響効果でお楽しみいただけます。

PROCESSING MODEセクターを  **SURROUND** ポジションにセットしてロードショーで体験したあの感動と迫力をお楽しみください。

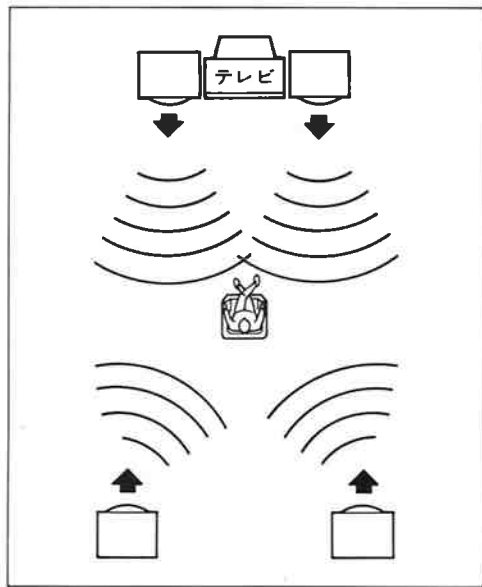
 **DOLBY SURROUND**™

※「ドルビー」及びダブルD記号は、ドルビー研究所の登録商標です。本機は、ドルビー研究所のライセンスに基き製造された製品です。

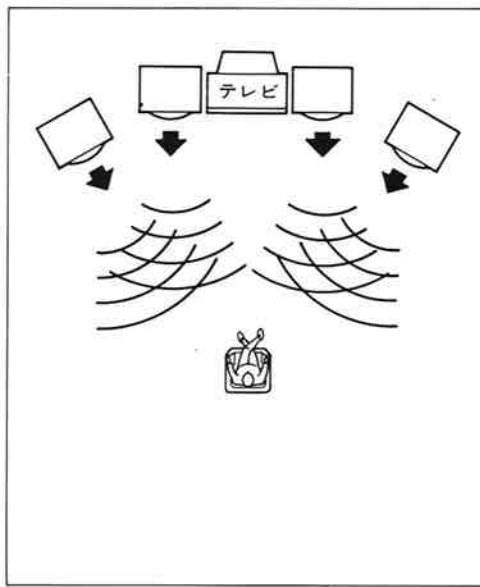
スピーカーの配置について

プレゼンススピーカーの配置は、部屋の大きさや残響特性などにより、いろいろなパターンが考えられます。

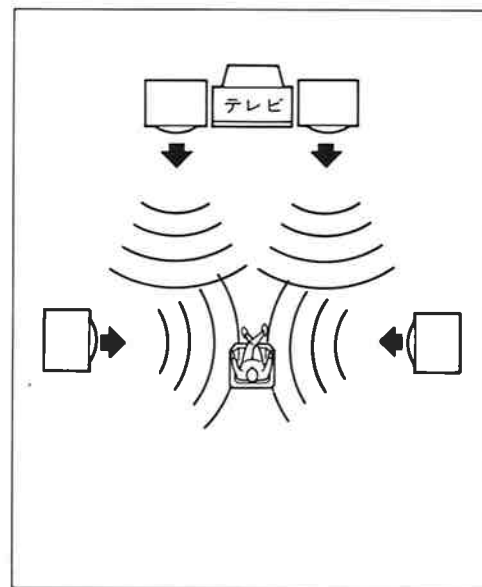
ここに示した配置例は、サラウンド空間をより効果的に楽しみいただくための代表的な例です。それ以外にもいろいろな配置があります。お好みに合わせてセットしてお楽しみください。



標準的な置き方



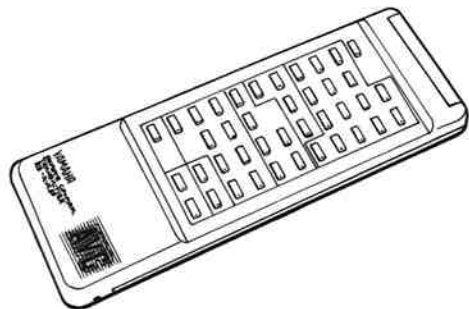
前方に4つのスピーカーを配置する場合左右の壁が板やコンクリートなどの場合図とは逆に壁側に向けると良い結果が得られる場合があります。



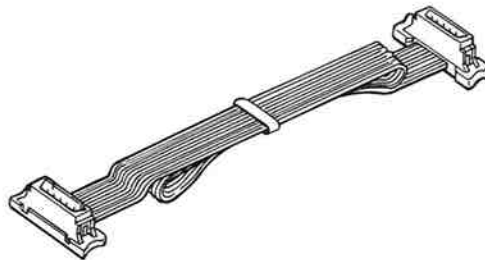
スピーカーを左右に配置する場合プレゼンス(サブ)スピーカーは少し高い所から下向に置くと良い結果が得られる場合があります。

付属品の確認

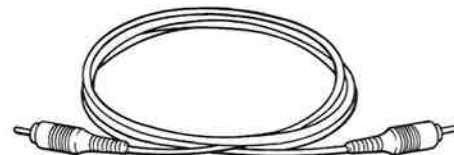
- ワイヤレスリモコン(RS-AVC50)



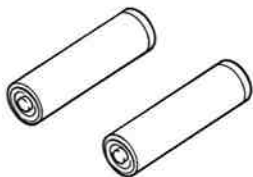
- リモコンケーブル(5ピン) (チューナー用)



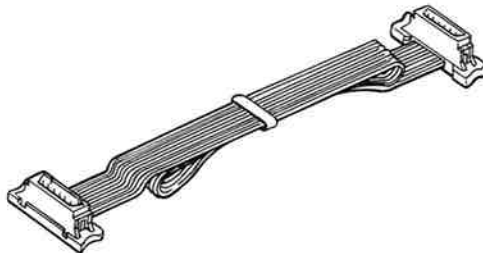
- ピンコード(映像用)



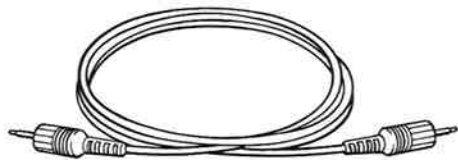
- 乾電池 単3(SUM-3)×2
(ワイヤレスリモコン用)



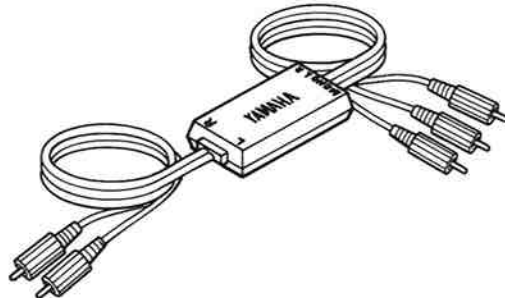
- リモコンケーブル(6ピン) (テープデッキ用)



- ミニプラグ付リモコンケーブル(プレーヤー用)

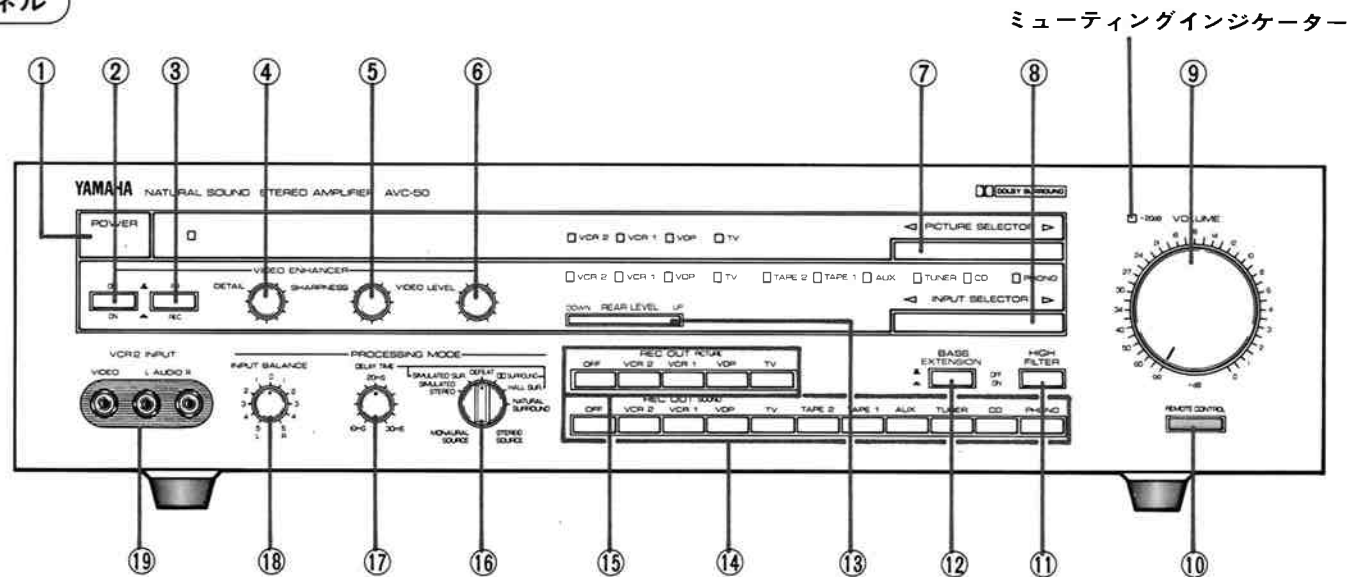


- ステレオ↔モノラル(ステレオ)変換コード



各部の名称とはたらき

フロントパネル



① POWERスイッチ

このスイッチを押すと電源が入り右のインジケータが赤く点灯します。電源を切るときはもう一度押してください。

- 電源を入れるときは、必ずVOLUMEツマミを最小の位置"∞"に回してください。
- 電源を入れてから数秒間はスピーカー保護回路がはたらいっているため音が出ません。

ビデオエンハンサーセクション

② VIDEO ENHANCER ON/OFFスイッチ

映像信号を輪郭補正するときにON■にし、補正しないときに、OFF■にします。

③ PB/REC切替スイッチ

エンハンサーをはたらかせてビデオソースを録画やダビングするときにREC■にし、再生するときにPB■にします。

④ DETAILツマミ

時計方向○に回すと画像の細部が強調され、鮮明さが増します。

⑤ SHARPNESSツマミ

時計方向○に回すと画像の輪郭が強調されます。

⑥ VIDEO LEVELツマミ

時計方向○に回すと画面が明るくなり、反時計方向○に回すと暗くなります。

ビデオセクション

⑦ PICTURE SELECTOR

ビデオソースを選択するときに使用します。"◀"と"▶"を押して、赤色のインジケータを希望するビデオソースに合わせます。押し続けると連続的に変化します。

オーディオセクション

⑧ INPUT SELECTOR

プログラムソースを選択するときに使用します。"◀"と"▶"を押して、緑色のインジケータを希望するプログラムソースに合わせます。ビデオソースを選択すると、⑦PICTURE SELECTORも同時に切り換わります。キーを押し続けるとプログラムソースが連続的に変化します。

⑨ ^{ボリューム}VOLUME ツマミ

リアパネルのFRONT端子とREAR端子から出力される音量を同時に調整するツマミです。右回しにすると音が大きくなり、左回しにすると音が小さくなります。REAR端子とFRONT端子の音量バランスは⑬REAR LEVELコントロールローラーによって調整します。

⑩ ^{リモート}^{コントロール}REMOTE CONTROL 受光窓

付属のワイアレスリモコン(RS-AVC50)からの信号を受光する窓です。

⑪ ^{ハイ}^{フィルター}HIGH FILTER スイッチ

高音域(10kHz以上)のノイズをカットするときにON \blacksquare にします。

⑫ ^{バス}^{エクステンション}BASS EXTENSION スイッチ

低音域(70Hz付近)を強調するときにON \blacksquare にします。

⑬ ^{リア}^{レベル}REAR LEVEL コントローラー

本機リアパネルのREAR端子から出力される音声信号のレベルを調整するときに使用します。音量を大きくするときは“UP”側を押してください。押し続けると連続的に音量が大きくなります。音量を小さくするときは、“DOWN”側を押してください。押し続けると連続的に音量が小さくなります。

<REC OUT セクション>

⑭ ^{レック}^{アウト}^{サウンド}REC OUT SOUND セレクター

テープデッキまたは、ビデオデッキに録音するオーディオソースを選択するときに使用します。INPUT SELECTOR⑧に関係なく、接続されているオーディオソースを録音できます。

⑮ ^{レック}^{アウト}^{ピクチャー}REC OUT PICTURE セレクター

ビデオデッキに録画するビデオソース(映像のみ)を選択するときに使用します。現在見ているソースに関係なく、このセレクターで選んだビデオソースを録画できます。

サラウンドセクション

⑯ ^{プロセッシング}^{モード}PROCESSING MODE セレクター

このセレクターで、ソースに合わせて5つの異なった臨場感を選べます。

^{シミュレートッド}^{サラウンド}SIMULATED SUR.

モノラルソースを、サラウンド効果(自然な残響効果)でお楽しみいただけます。フロントスピーカーは、モノラルで再生されます。そしてプレゼンス(サブ)スピーカーは、ディレイでほんのわずが遅らせて、くし形フィルターにより左右振り分けた音が再生されます。

^{シミュレートッド}^{ステレオ}SIMULATED STEREO

フロント・プレゼンス(サブ)スピーカーとも、モノラルソースを、擬似ステレオ化することができます。AM放送や、テレビ音声などに使用しますと、立体的な音像をお楽しみいただけます。

^{ディフェイト}DEFEAT

通常ステレオの音が再生されます。

^{ドルビー}^{サラウンド}DOLBY SURROUND

ビデオディスク等に“ DOLBY SURROUND™”と表示されたプログラムソースを再生する際は、このポジションにしてください。

^{ホール}^{サラウンド}HALL SUR.

ヤマハならではのサラウンド効果がお楽しみいただけます。そのしくみは、ディレイで遅らせた信号をヤマハくし形フィルターで、後方左右に振り分けています。この効果により、拡がりのあるサラウンド空間を創り出してくれます。

※モノラルソースにすると、プレゼンス(サブ)スピーカーから音は出ません。


^{ナチュラル}^{サラウンド}NATURAL SURROUND

通常ステレオソースをヤマハ独自のサラウンド回路によって、自然な残響効果で再現します。

※モノラルソースにすると、プレゼンス(サブ)スピーカーからの音は消えます。

⑰ ^{ディレイ}^{タイム}DELAY TIME ツマミ

プレゼンス(サブ)スピーカーをフロントスピーカーよりも、遅延させる時間を10ms~30msの間で調整するツマミです。臨場感の度合いが調整できます。

●このツマミは⑯PROCESSING MODEセレクターが“SIMULATED SUR.”“ SURROUND”“HALL SUR.”ポジションのときに効果があります。

⑱ ^{インプット}^{バランス}INPUT BALANCE ツマミ(サラウンド専用)

残響成分(差信号)を最大限にとり出すために、入力側に設けた、左右のレベルバランス調整ツマミです。フロントスピーカーをOFFにし、プレゼンス(サブ)スピーカーから出てくる音で、中央定位成分が最少になるように調整します。

⑲ ^{ビデオデッキ2}^{インプット}VCR2 INPUT 端子

ビデオ機器の入力端子です。この端子にダビング用のデッキやパソコンが接続できます。なお、この端子を使用した場合、リアパネルのVCR2よりも優先して入力されます。

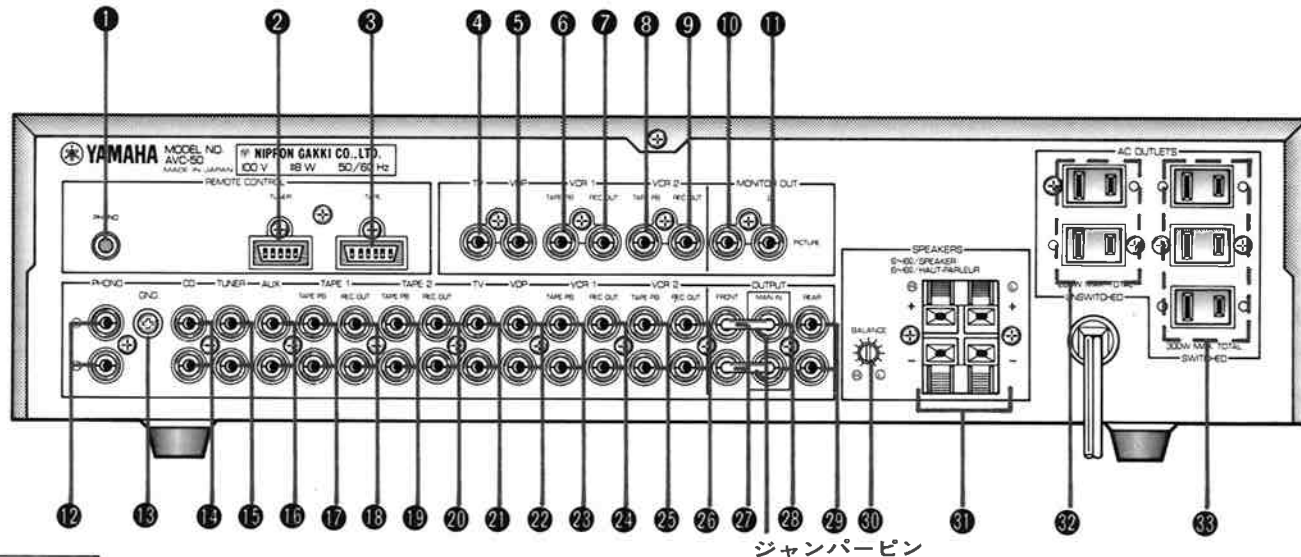
※モノラル音声のデッキを接続する場合は、付属のステレオ↔モノラル変換コードをお使いください。

※VCRは、VTRと同じ意味です。

VCR: VIDEO CASSETTE RECORDER

VTR: VIDEO TAPE RECORDER

リアパネル



ジャンパーピン

リモコンセクション

① リモート コントロール フォノ REMOTE CONTROL "PHONO" 端子

リモコンユニットRS-AVC50によって送信された信号を **RS** マーク付レコードプレーヤーへ送り出すための端子です。

② リモート コントロール チューナー REMOTE CONTROL "TUNER" 端子

リモコンユニットRS-AVC50によって送信された信号を **RS** マーク付チューナーへ送り出すための端子です。

③ リモート コントロール テープ REMOTE CONTROL "TAPE" 端子

リモコンユニットRS-AVC50によって送信された信号を **RS** マーク付カセットデッキへ送り出すための端子です。

ビデオセクション(映像)

④ テレビ ピクチャー 端子

テレビチューナーや、ビデオデッキなどのビデオ機器から出力されるビデオ信号を入力する端子です。

⑤ VDP ピクチャー 端子

ビデオディスプレイヤーから出力されるビデオ信号を入力する端子です。

⑥ VCR 1 "TAPE PB" 端子

ビデオデッキから出力されるビデオ信号を入力する端子です。1台目のビデオデッキを接続します。

⑦ VCR 1 "REC OUT" 端子

本機のフロントパネルにあるREC OUT PICTUREセレクターで選択されたビデオ信号を出力する端子です。1台目のビデオデッキを接続します。

⑧ VCR 2 "TAPE PB" 端子

ビデオデッキから出力されるビデオ信号を入力する端子です。2台目のビデオデッキを接続します。

フロントパネルの⑨VCR2 INPUT端子にもう一台ビデオデッキを接続した場合、フロントパネル側の端子が優先して働きます。

⑨ VCR 2 "REC OUT" 端子

本機のフロントパネルにあるREC OUT PICTUREセレクターで選択されたビデオ信号を出力する端子です。2台目のビデオデッキを接続します。

⑩ ^{モニター アウト} MONITOR OUT 1

PICTURE SELECTORによって選択されたビデオ信号を出力する端子です。

1台目のモニターテレビを接続します。

⑪ ^{モニター アウト} MONITOR OUT 2

PICTURE SELECTORによって選択されたビデオ信号を出力する端子です。

2台目のモニターテレビを接続します。

<オーディオセクション>

⑫ ^{フォノ} PHONO端子

レコードプレーヤーから出力されたオーディオ信号を入力する端子です。

カートリッジは、MM型のものをお使いください。

⑬ ^{グラウンド} GND端子

レコードプレーヤーのアース線を接続する端子です。

⑭ ^{シーディー} CD端子

CDプレーヤーから出力されたオーディオ信号を入力する端子です。

⑮ ^{チューナー} TUNER端子

チューナーから出力されるオーディオ信号を入力する端子です。

⑯ ^{エーユーエックス} AUX端子

外部のオーディオ機器(レコードプレーヤー以外)から出力されるオーディオ信号を入力する端子です。

⑰ ^{テープ テープ プレイバック} TAPE 1 "TAPE PB" 端子

テープデッキから出力されるオーディオ信号を入力する端子です。1台目のテープデッキを接続します。

⑱ ^{テープ レック アウト} TAPE 1 "REC OUT" 端子

REC OUT SOUNDセレクターによって選択されたオーディオ信号を出力する端子です。1台目のテープデッキを接続します。

⑲ ^{テープ テープ プレイバック} TAPE 2 "TAPE PB" 端子

テープデッキから出力されるオーディオ信号を入力する端子です。2台目のテープデッキを接続します。

⑳ ^{テープ レック アウト} TAPE 2 "REC OUT" 端子

REC OUT SOUNDセレクターによって選択されたオーディオ信号を出力する端子です。2台目のテープデッキを接続します。

ビデオ入力セクション(音声)

㉑ ^{テレビ} TV サウンド端子

テレビチューナーや、ビデオデッキなどのビデオ機器から出力されるオーディオ信号を入力する端子です。

㉒ ^{ビデオ} VDP サウンド端子

ビデオディスクプレーヤーから出力されるオーディオ信号を入力する端子です。

㉓ ^{バイシーアール テープ プレイバック} VCR 1 "TAPE PB" サウンド端子

ビデオデッキから出力されるオーディオ信号を入力する端子です。1台目のビデオデッキを接続します。

㉔ ^{バイシーアール レック アウト} VCR 1 "REC OUT" サウンド端子

本機のフロントパネルにあるREC OUT SOUNDセレクターで選択されたオーディオ信号を出力する端子です。1台目のビデオデッキを接続します。

㉕ ^{バイシーアール テープ プレイバック} VCR 2 "TAPE PB" サウンド端子

ビデオデッキから出力されるオーディオ信号を入力する端子です。2台目のビデオデッキを接続します。

㉖ ^{バイシーアール レック アウト} VCR 2 "REC OUT" サウンド端子

本機のフロントパネルにあるREC OUT SOUNDセレクターで選択されたオーディオ信号を出力する端子です。2台目のビデオデッキを接続します。

アウトプットセクション

㉗ FRONT 端子

フロントスピーカー用に信号処理されたオーディオ信号の出力端子です。またこの端子をジャンパーピンで㉘ MAIN IN端子と接続すると内蔵のパワーアンプで、フロントスピーカーをドライブすることができます。フロントスピーカーを外部アンプでドライブするときは、ジャンパーピンを㉘ MAIN IN端子と㉙ REAR 端子に接続してご使用ください。

㉘ ^{メイン イン} MAIN IN 端子

内蔵のパワーアンプへの入力端子です。

通常は、㉗ FRONT端子とジャンパーピンで接続されてます。

②^{リア}REAR端子

サラウンドプロセッサ回路にて処理された信号の出力端子です。また、この端子をジャンパーピンで③MAIN IN端子と接続すると内蔵のパワーアンプでプレゼンス用スピーカーをドライブすることができます。

⑩^{バランス}BALANCEツマミ

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。ツマミを右に回すと左の音が小さくなり、左に回すと右の音が小さくなります。

⑪^{スピーカー}SPEAKER端子

プレゼンス(サブ)スピーカー、またはフロントスピーカーを接続する端子です。

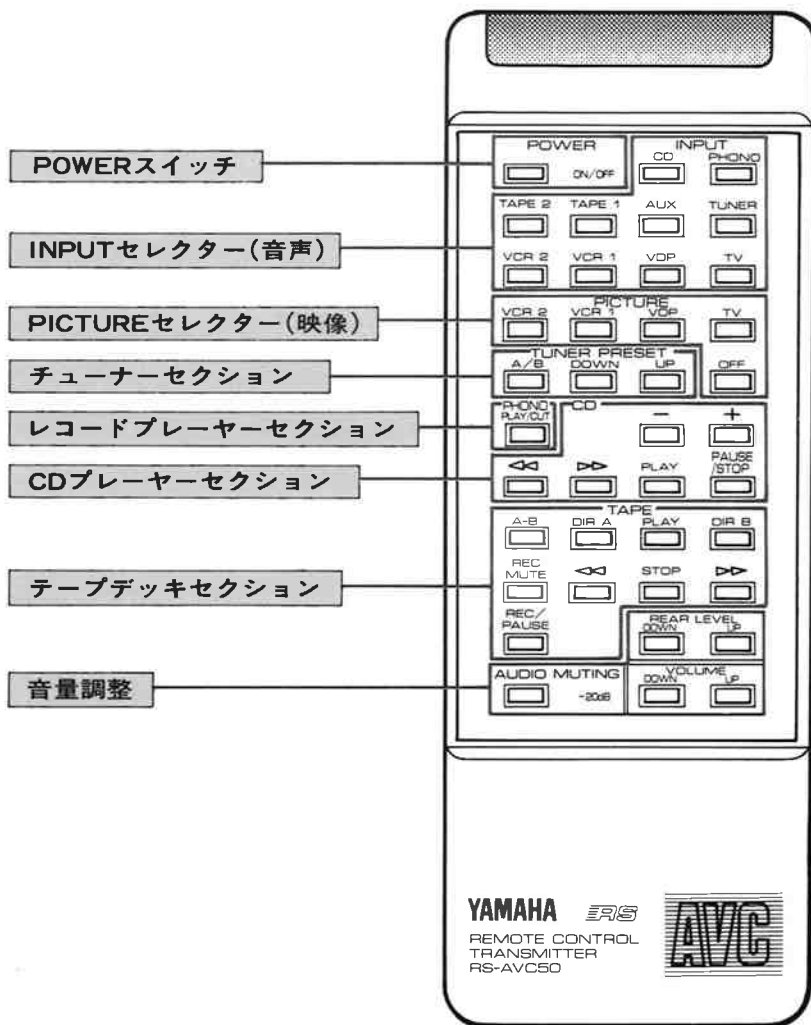
⑫^{アウレット}AC OUTLET(POWERスイッチ非連動)

外部のAV機器に電源を供給する予備コンセントです。本機のPOWERスイッチには関係なく、最大200Wまで供給できます。

⑬^{アウレット}AC OUTLET(POWERスイッチ連動)

外部のAV機器に電源を供給する予備コンセントです。本機のPOWERスイッチと連動して、最大300Wまで供給できます。

リモコンユニット(RS-AVC50)



POWERスイッチ

オン/オフ : AVC-50の電源ON/OFFを行なうキーです。

INPUTセレクトター(音声)

希望するオーディオソースを選択するキーです。ビデオソースとは独立していますので、ビデオソースの音声と異なるオーディオソースを選択できます。

PHONO : レコードプレーヤー

CD : CDプレーヤー

TUNER : チューナー

AUX : 外部オーディオ機器

TAPE1 : テープデッキ1

TAPE2 : テープデッキ2

TV : 外部ビデオ機器の音声

VDP : ビデオディスクプレーヤーの音声

VCR1 : ビデオデッキ1の音声

VCR2 : ビデオデッキ2の音声

PICTUREセレクトター(映像)

希望するビデオソースを選択するキーです。オーディオソースとは独立していますので、単独でビデオソースを選択することができます。

TV : 外部ビデオ機器の映像

VDP : ビデオディスクプレーヤーの映像

VCR1 : ビデオデッキ1の映像

VCR2 : ビデオデッキ2の映像

OFF : 映像が消えます。

チューナーセクション

AVC-50に接続したマーク付チューナーにプリセットされている放送局を選局するキーです。

UP : チューナーにプリセットされている放送局を選局するときに押します。押すたびにプリセットの番号が1つずつ増えます。(例、P7→P8)また、P8(P16)のときに押すとP1(P9)に換わります。

DOWN : チューナーにプリセットされている放送局を選局するときに押します。押すたびにプリセットの番号が1つずつ減ります。(例、P8→P7)また、P1(P9)のときに押すとP8(P16)に換わります。

A/B : チューナーの「P1-P8/P9-P16キー」と同じはたらきをします。このキーを押すたびに、P1-P8とP9-P16が切り換わります。

YAMAHA RS
REMOTE CONTROL
TRANSMITTER
RS-AVC50

AVC

レコードプレーヤーセクション

AVC-50に接続した **RS** マーク付レコードプレーヤーの演奏の開始と停止を行なうキーです。

PLAY/CUT : レコードプレーヤーのPLAY/CUTボタンと同じはたらきをします。押すと演奏を開始し、再度押すと停止します。

CDプレーヤーセクション

RS マーク付CDプレーヤーをダイレクトに操作できます。

+ : 次の曲の頭に移るキーです。

- : 曲の頭に戻るキーです。曲の頭でこのキーを押すと一曲前の頭に戻ります。

ポーズ PAUSE : 演奏中に一時停止させるときや、停止させるときに使うキーです。

ストップ /STOP : 1回押しで一時停止、2回押しで停止となります。

PLAY : 演奏をスタートするキーです。

▷▷ : 早送りを行なうキーです。押している間、早送りが行なわれます。

◁◁ : 早戻しを行なうキーです。押している間、早戻しが行なわれます。

●詳しくはCDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

テープデッキセクション

AVC-50に接続した **RS** マーク付テープデッキを操作するときを使うキーです。

DIR B ディレクション ビー : ダブルデッキのデッキBの再生方向を切り換えるキーです。
(**Q**または**◁**)

PLAY プレイ : デッキの再生を始めるキーです。ダブルデッキの場合、最後に再生していたデッキ側の再生が始まります。

DIR A ディレクション エー : ダブルデッキのデッキAの再生方向を切り換えるキーです。
(**Q**または**◁**)

A - B エー ビー : ダブルデッキのA、Bどちらのデッキを操作するのかが選択するキーです。

▷▷ : テープを早送りするときに押します。

STOP ストップ : テープ走行を停止するときに押します。

◁◁ : テープを巻き戻すときに押します。

REC MUTE レック ミュート : 録音中に無録音部分を作る場合に押します。

REC/PAUSE レック ポーズ : 録音スタンバイ状態にするときに押します。録音を開始するときは、PLAYキーを押します。

音量調整

AVC-50のフロント、リアそれぞれのスピーカーの音量調節を行なうときに操作するキーです。

AUDIO MUTING オーディオ ミューティング : AVC-50のVOLUMEツマミを回さずにアンプの音量を-20dB(1/10)に下げることができます。

◎音量レベルがあがった状態でAUDIO MUTINGを解除すると、急激な音量変化でスピーカーに悪影響を与えますのでVOLUMEツマミを下げてからこのスイッチを解除してください。

REAR LEVEL リア レベル : AVC-50のREAR端子から出力される信号の音量調節をするキーです。"UP"キーを押すと音量が上がり、"DOWN"キーを押すと下がります。

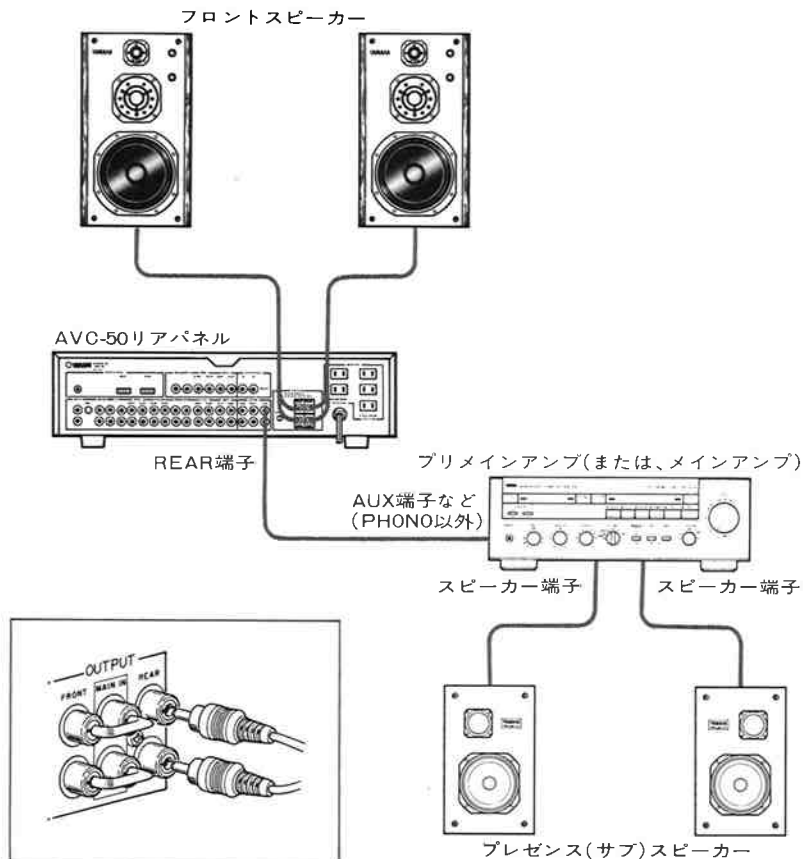
VOLUME ボリューム : AVC-50の音量レベルを調節するキーです。"UP"キーを押すと音量が上がり、"DOWN"キーを押すと下がります。

接続のしかた

※接続の際は、各機器の電源を切り、右チャンネル(R)、左チャンネル(L)を確認して正しく接続してください。

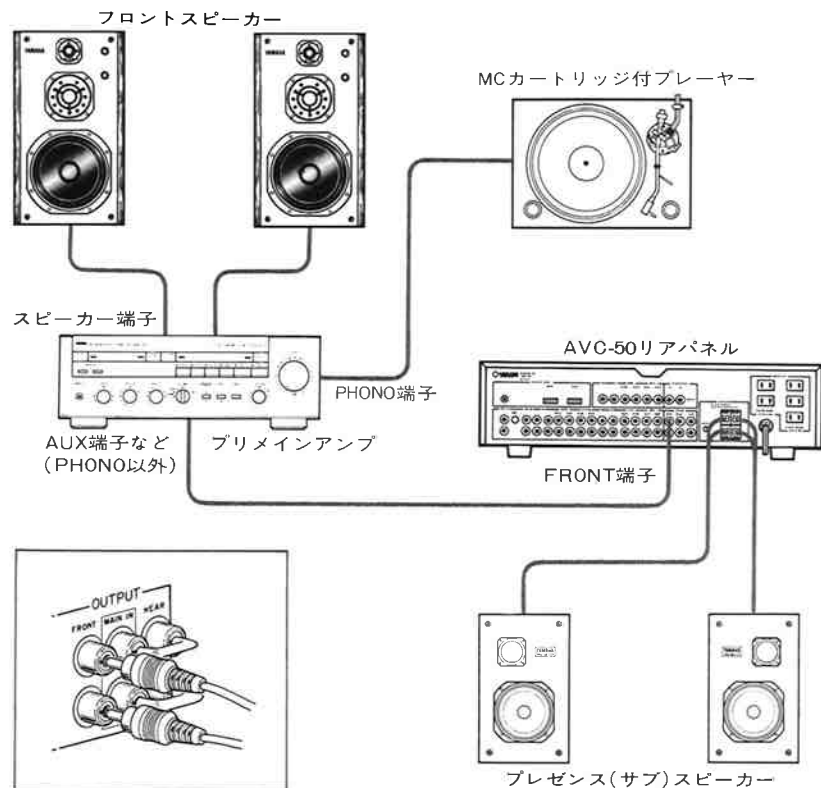
◆AVC-50で鳴らすスピーカーを選びます。

■AVC-50でフロントスピーカーを鳴らす場合



- ①AVC-50のFRONT端子とMAIN IN端子をジャンパーピンで接続します。
 - ②REAR端子とアンプのPHONO以外の音声入力端子(AUXなど)を接続します。このとき、フロントスピーカーはAVC-50に、プレゼンス(サブ)スピーカーはアンプに接続します。
- ※グラフィックイコライザーを接続して音質を調整する場合は、ジャンパーピンをはずし、FRONT端子とグラフィックイコライザーの入力端子を、MAIN IN端子と、グラフィックイコライザーの出力端子を接続してください。

■AVC-50でプレゼンス(サブ)スピーカーを鳴らす場合



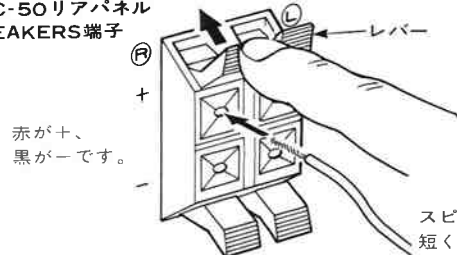
- ①AVC-50のREAR端子とMAIN IN端子をジャンパーピンで接続します。
 - ②FRONT端子とブリメインアンプのPHONO以外の音声入力端子(AUXなど)を接続します。このとき、フロントスピーカーはブリメインアンプに接続し、プレゼンス(サブ)スピーカーはAVC-50に接続します。
 - ③MCカートリッジ付レコードプレーヤーは、ブリメインアンプのPHONO端子に接続してください。
- ※グラフィックイコライザーを接続して音質を調整する場合は、ブリメインアンプに接続してご使用ください。

◆オーディオ機器との接続

■スピーカーシステムの接続

- ①スピーカーコードの先端10mmの絶縁をはがしてください。
- ②レバーを指で押し、コードを入れて離します。

AVC-50リアパネル
SPEAKERS端子



※極性が合っていない場合、音が中央に定位せず、ステレオ感のない低音のそこなわれた不自然な再生音となってしまいますのでご注意ください。

※接続するスピーカーは指定のインピーダンスの範囲内(6~16Ω)のものをご使用ください。

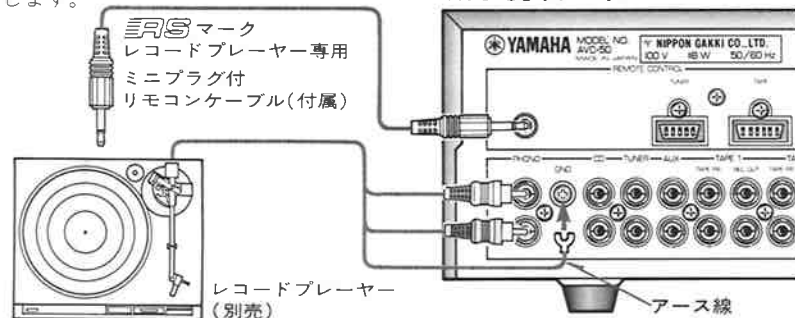
※接続の際スピーカーコードの露出部分が他の端子に接触しないようにご注意ください。

■レコードプレーヤーの接続

- ①MMカートリッジ付のレコードプレーヤーの出力コードをPHONO端子に接続し、アース線をGND端子に接続してください。

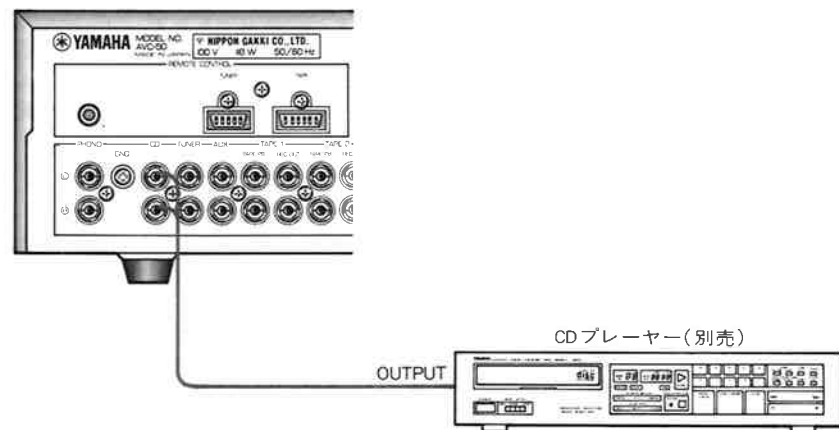
※MCカートリッジ付のレコードプレーヤーを使う場合、本機とプレーヤーの間にMCヘッドアンプを接続するか、13ページの「■AVC-50プレゼンス(サブ)スピーカーを鳴らす場合」の方法で接続してください。詳しくはMCヘッドアンプの取扱説明書をご覧ください。

- ② **RS** マーク付レコードプレーヤーと接続する場合、付属のミニプラグ付リモコンケーブルでプレーヤーとAVC-50とREMOTE CONTROL端子と接続します。



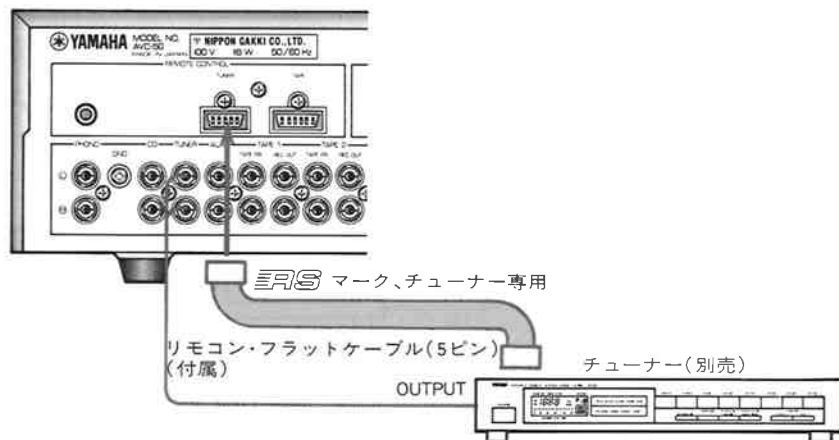
■CDの接続

コンパクトディスク(CD)プレーヤーの出力端子と本機のCD端子を接続してください。



■チューナーの接続

チューナーの出力端子と本機のTUNER端子を接続してください。**RS** マーク付チューナーをご使用になる場合、付属のフラットケーブル(5ピン)を使用して本機のREMOTE CONTROL端子と接続します。



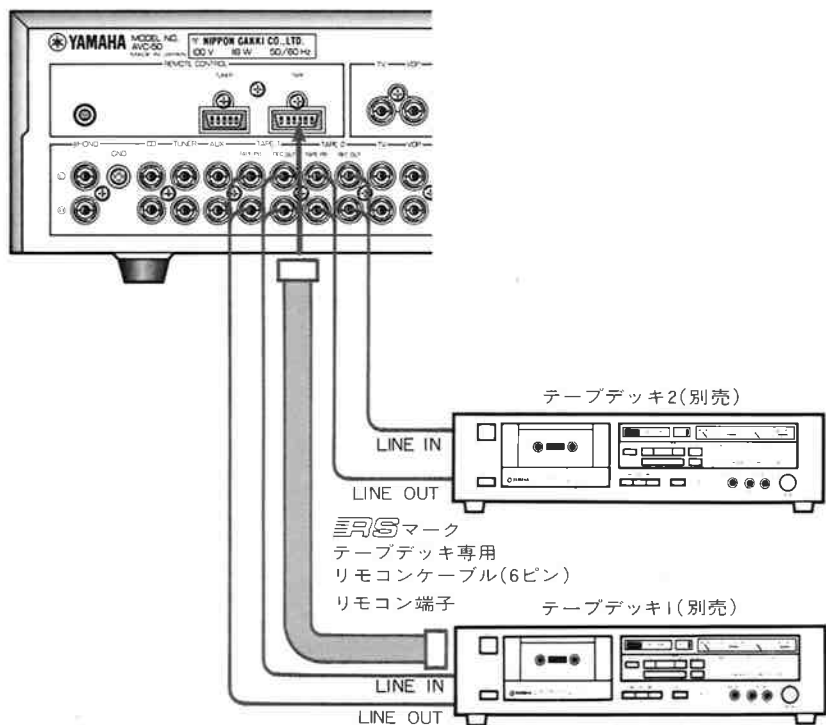
■AUX端子への接続

AUX端子は補助入力端子です。2台目のCDプレーヤーやチューナーなどが接続できます。

■テープデッキの接続

本機では、TAPE1、TAPE2端子にテープデッキの接続ができます。

TAPE PB端子とテープデッキのLINE OUT端子、REC OUT端子とテープデッキのLINE IN端子をそれぞれ接続してください。RSマーク付テープデッキをご使用になる場合、付属のフラットケーブル(6ピン)によってお互いのREMOTE CONTROL端子を接続します。

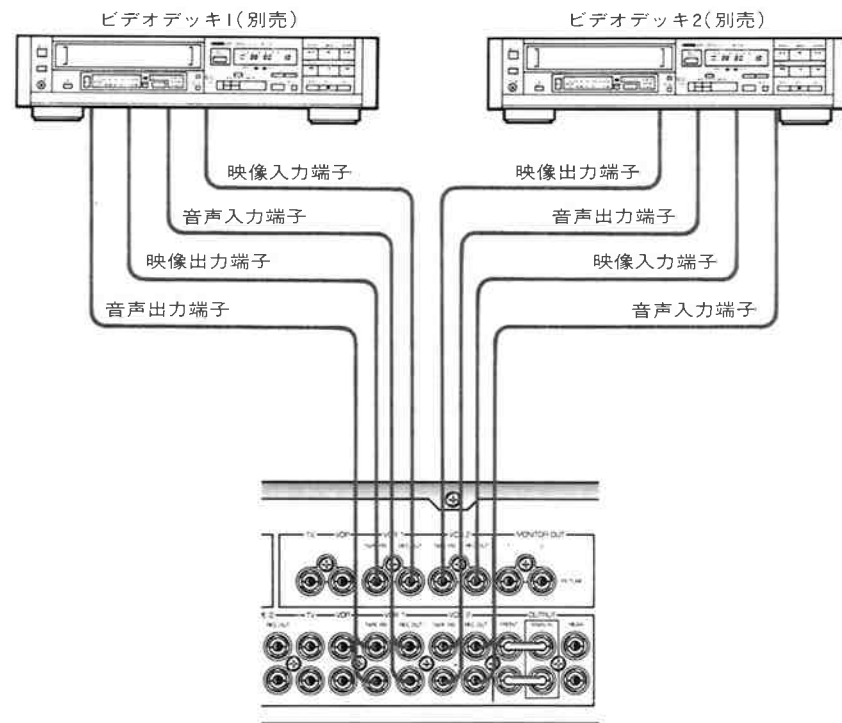


◆ビデオ機器との接続

■ビデオデッキの接続

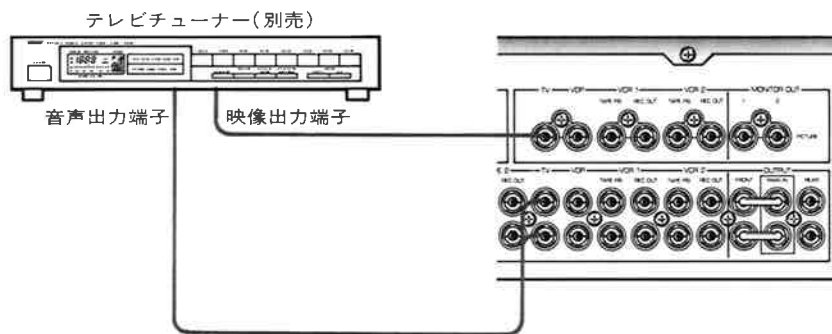
〈再生系〉：VCR1"TAPE PB"ピクチャー端子(黄)とビデオデッキの映像出力端子を接続し、VCR1"TAPE PB"サウンド端子(白、赤)とビデオデッキの音声出力端子を接続します。

〈録画、録音系〉：VCR1"REC OUT"ピクチャー端子(黄)とビデオデッキの映像入力端子を接続し、VCR1"REC OUT"サウンド端子(白、赤)とビデオデッキの音声入力端子を接続します。VCR2も同様にして接続してください。



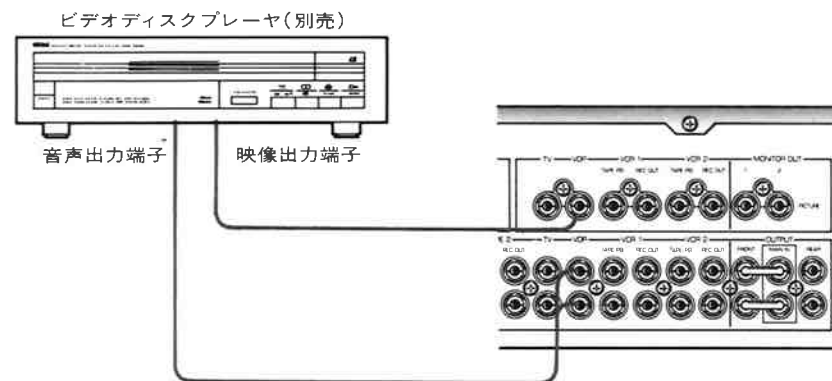
■ TV 端子への接続

テレビチューナーや、その他のビデオ機器の、映像出力端子とTVピクチャー端子(黄)を接続します。同様にして音声出力端子とTVサウンド端子(白、赤)を接続します。



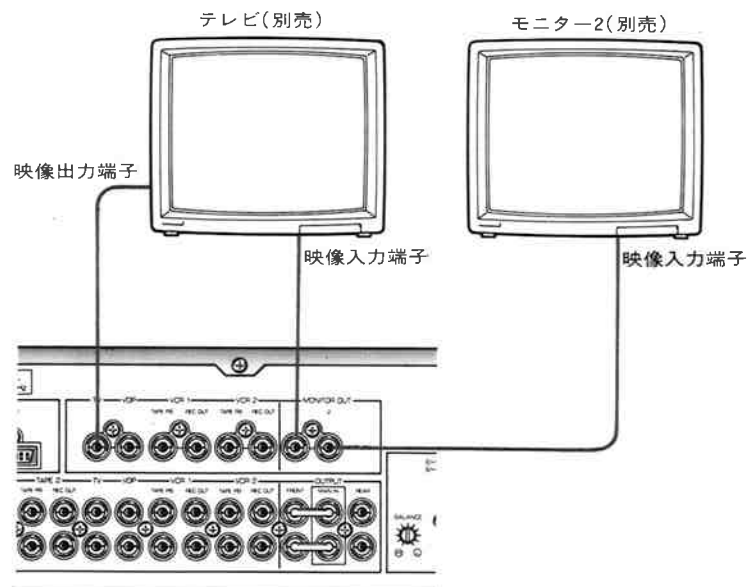
■ ビデオディスクプレーヤーの接続

VDPピクチャー端子(黄)とビデオディスクプレーヤーの映像出力端子を接続し、VDPサウンド端子(白、赤)の音声出力端子を接続します。



■ モニターテレビの接続

MONITOR OUT端子(黄)とモニターテレビの映像入力端子を接続します。MONITOR OUT 1とMONITOR OUT 2端子の両方にそれぞれ接続することができます。また、映像出力端子付テレビをご使用になる場合、TV端子と接続すれば、ビデオエンハンサーを利用した録画などをお楽しみいただけます。



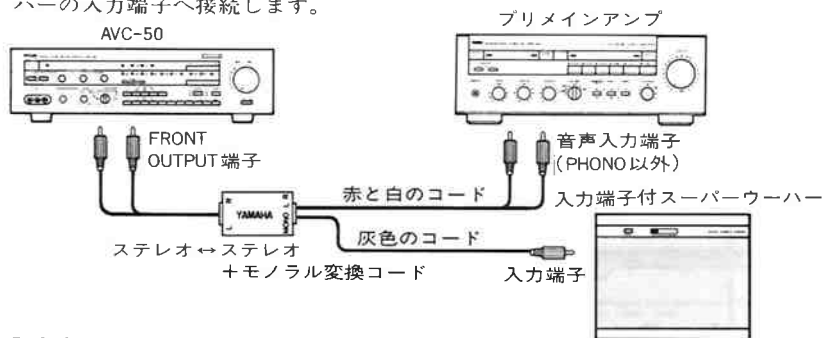
■3Dシステムの接続

※接続をする前に、使用するスーパーウーハーの取扱説明書で、接続方法を確認してください。

<アンプを内蔵しているスーパーウーハーとの接続>

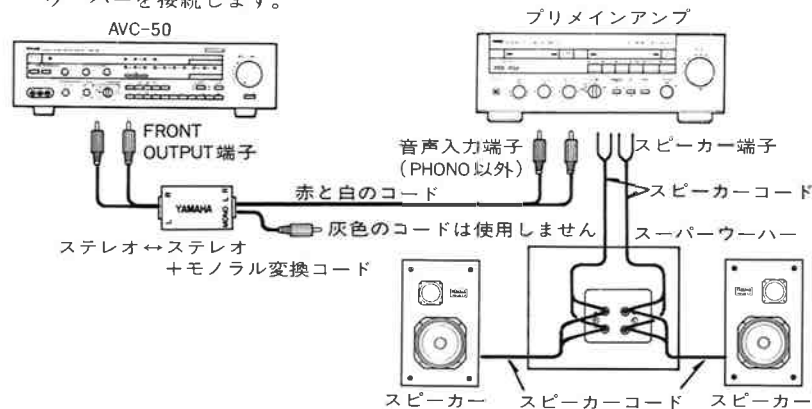
A) 入力端子付の場合

- 本機のFRONT OUTPUT端子へ、付属のステレオ(L, R) ↔ ステレオ+モノラル(L, R, MONO)変換コードのステレオ(L, R)側のプラグを接続し、ステレオ+モノラル側の赤(Rch)と白(Lch)のプラグをプリメインアンプの音声入力端子(PHONO以外)へ接続します。そして灰色(モノラル)のプラグをスーパーウーハーの入力端子へ接続します。



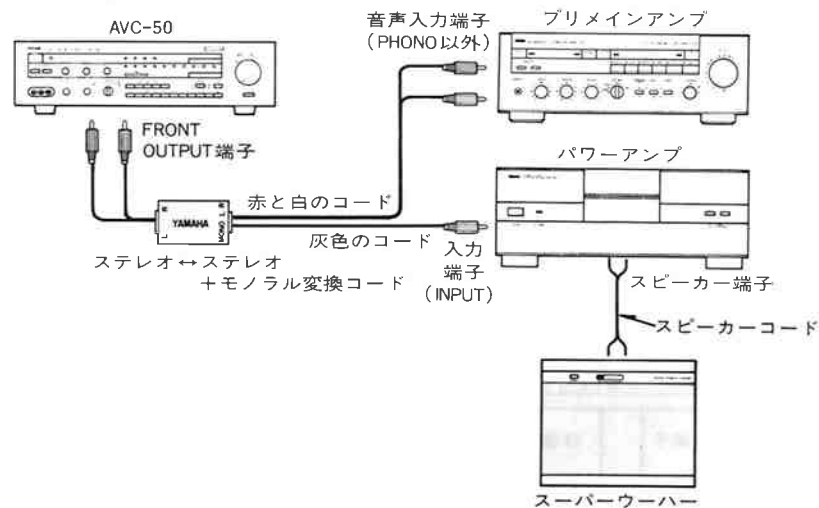
B) 入力をスピーカーコードで行なう場合

- 1) 本機のFRONT OUTPUT端子へ、付属のステレオ(L, R) ↔ ステレオ+モノラル(L, R, MONO)変換コードのステレオ(L, R)側のプラグを接続し、ステレオ+モノラル側の赤(Rch)と白(Lch)のプラグをプリメインアンプの音声入力端子(PHONO以外)へ接続します。
- 2) プリメインアンプのスピーカー端子へフロント側の左右のスピーカーとスーパーウーハーを接続します。

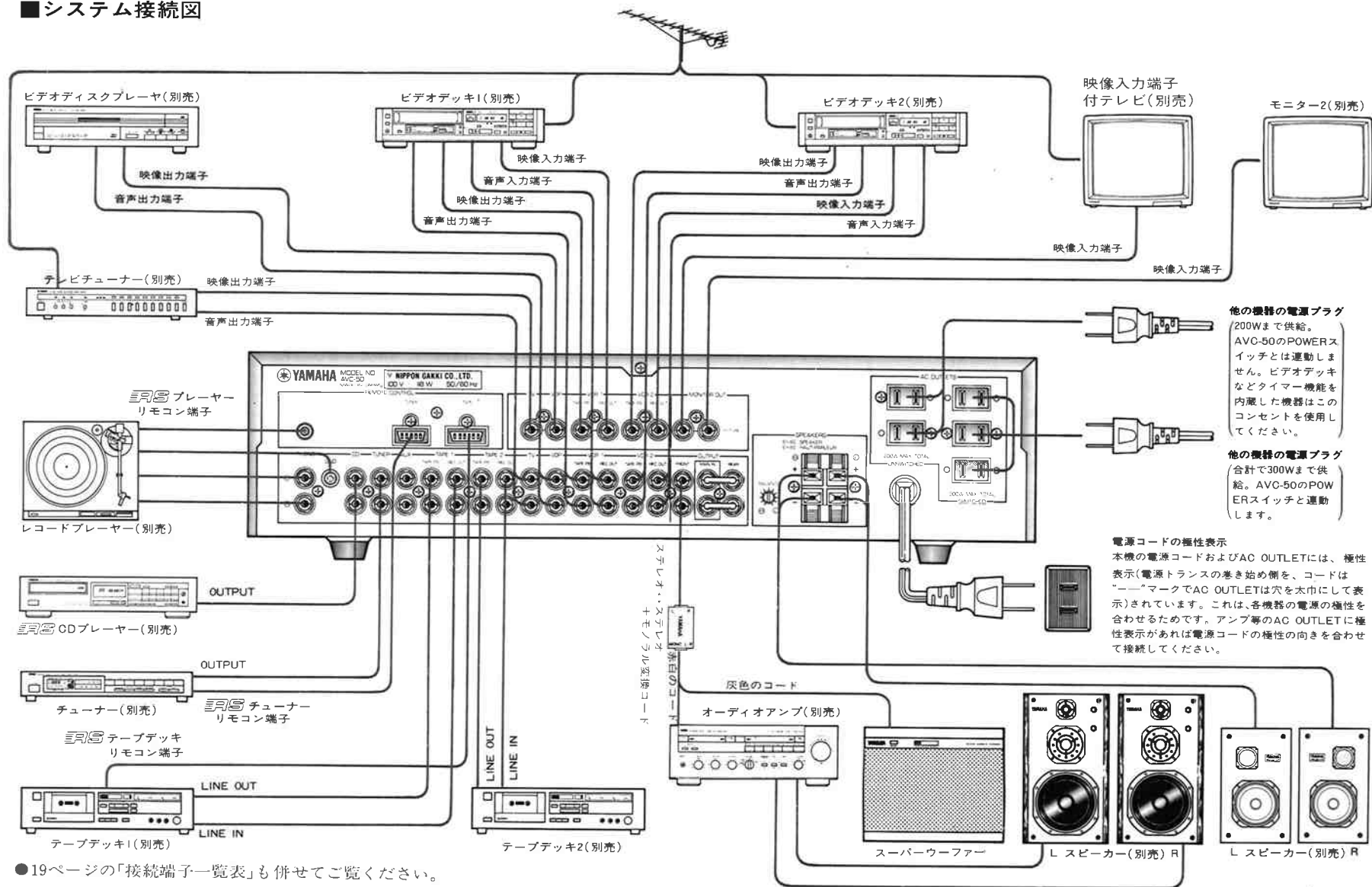


<アンプを内蔵していないスーパーウーハーとの接続>

- 1) 本機のFRONT OUTPUT端子へ、付属のステレオ(L, R) ↔ ステレオ+モノラル(L, R, MONO)変換コードのステレオ(L, R)側のプラグを接続し、ステレオ+モノラル側の赤(Rch)と白(Lch)のプラグをプリメインアンプの音声入力端子(PHONO以外)へ接続します。そして灰色(モノラル)のプラグをパワーアンプの入力(INPUT)端子へ接続します。
 - 2) プリメインアンプのスピーカー端子へフロント側の左右のスピーカーを接続します。
 - 3) パワーアンプのスピーカー端子へスーパーウーハーを接続します。
- ※プリメインアンプが2系統のスピーカーを同時に鳴らせるモデルでは、パワーアンプを必要とせずプリメインアンプのスピーカー端子とスーパーウーハーを接続します。



■システム接続図



●19ページの「接続端子一覧表」も併せてご覧ください。

接続端子一覧表

接続する機器とその端子名			AVC-50の端子名
オーディオ機器	スピーカー(L)	(+, -)	SPEAKERS ① (+, -)
	スピーカー(R)	(+, -)	SPEAKERS ② (+, -)
	レコードプレーヤー	出力コード、アース線 REMOTE*1	PHONO、GND REMOTE CONTROL
	CDプレーヤー	OUTPUT (L, R)	CD (L, R)
	FM/AMチューナー	OUTPUT (L, R) REMOTE*1	TUNER (L, R) REMOTE CONTROL TUNER
	テープデッキ 1	LINE OUT (L, R) LINE IN (L, R) REMOTE*1	TAPE 2、TAPE PB (L, R) TAPE 2、REC OUT (L, R) REMOTE CONTROL TAPE
	テープデッキ 2	LINE OUT (L, R) LINE IN	TAPE 1、TAPE PB (L, R) TAPE 1、REC OUT (L, R)
ビデオ機器	テレビチューナー	映像出力端子 音声出力端子 (L, R)	TV (映像入力端子) TV (音声入力端子) (L, R)
	ビデオディスクプレーヤー	映像出力端子 音声出力端子 (L, R)	VDP (映像入力端子) VDP (音声入力端子) (L, R)
	ビデオデッキ 1	映像出力端子 音声出力端子 (L, R) 映像入力端子 音声入力端子 (L, R)	VCR 1、TAPE PB (映像入力端子) VCR 1、TAPE PB (音声入力端子) (L, R) VCR 1、REC OUT (映像出力端子) VCR 1、REC OUT (音声出力端子) (L, R)
	ビデオデッキ 2	映像出力端子 音声出力端子 (L, R) 映像入力端子 音声入力端子 (L, R)	VCR 2、TAPE PB (映像入力端子) VCR 2、TAPE PB (音声入力端子) (L, R) VCR 2、REC OUT (映像出力端子) VCR 2、REC OUT (音声出力端子) (L, R)
	モニターテレビ 1	映像入力端子	MONITOR OUT 1
	モニターテレビ 2	映像入力端子	MONITOR OUT 2
	プリアンプ	PHONO以外の入力端子 (L, R)	FRONTまたはREAR (L, R)
	パワーアンプ	INPUT (L, R)	FRONTまたはREAR (L, R)

⇄: ステレオピンコード(別売)
 ⇨: モノラルピンコード(別売)

スピーカーコード(別売)
 スピーカーコード(別売)

ミニプラグ付リモコンケーブル(付属品)

リモコンケーブル 5ピン(付属品)

リモコンケーブル 6ピン(付属品)

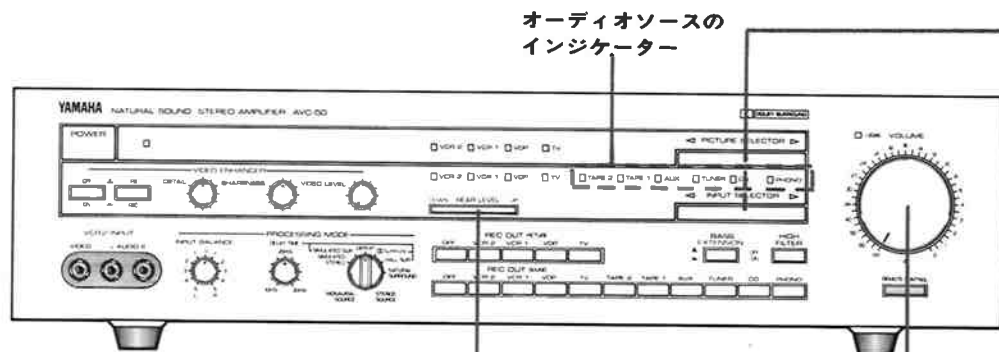
*1 **ERS**マーク付のヤマハ製品のみ接続できます。
 *2 モノラル音声のビデオデッキを接続する場合は付属のステレオ⇄モノラル変換コードをお使いください。

再生のしかた



■オーディオソースの再生(番号の順序で操作してください。)

準備 ●VOLUMEツマミを“∞”の位置にします。

●本機および再生するオーディオ機器の電源を入れます。



1

INPUT SELECTORの  または  を押して再生したいオーディオソースのインジケータが緑色に点灯するように合わせます。



●INPUT SELECTORは押しつづけると連続的に切り換わります。

2



オーディオ機器の再生を始めます。



●オーディオ機器の操作方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

3

フロントスピーカーの音量を調整します。時計方向 に回すと大きくなり、反時計方向 に回すと小さくなります。

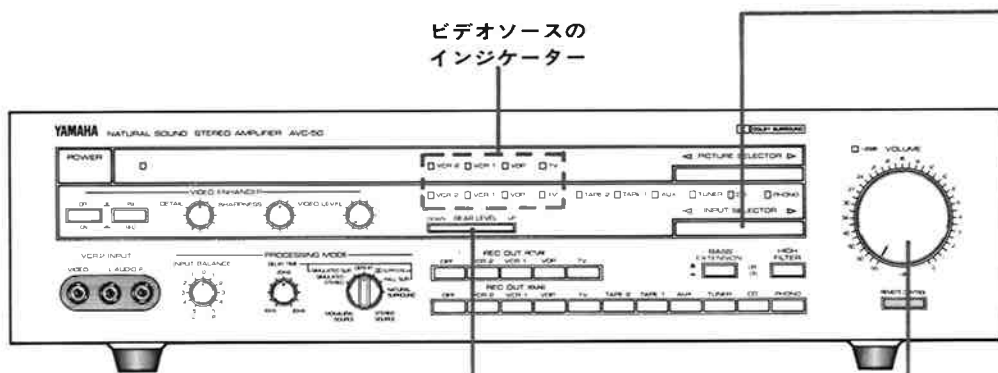
4

リアパネルの、REAR端子から出力される音量を調整します。 を押すと大きくなり  を押すと小さくなります。



- テープのヒスノイズをカットしたいときは、HIGH FILTERスイッチをON にします。
- 低音域をより強調したいときは、BASS EXTENSIONをON にします。

■ビデオソースの再生(番号の順序で操作してください。)

- 準備 ●VOLUMEツマミを ∞ の位置にします。
●本機、ビデオ機器およびモニターテレビの電源を入れます。



1

INPUT SELECTORの  または  を押して再生したいビデオソースのインジケータが点灯(上:赤、下:緑)するように合わせます。



- INPUT SELECTORは押しつづけると連続的に切り換わります。

2



ビデオ機器の再生を始めます。



- ビデオ機器の操作方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

3

フロントスピーカーの音量を調整します。VOLUMEツマミを時計方向に回すと大きくなり、反時計方向に回すと小さくなります。

4

プレゼンス(サブ)スピーカーの音量を調整します。 を押すと大きくなり  を押すと小さくなります。

- テープのヒスノイズをカットしたいときはHIGH FILTERをONにします。
- 低音域をより強調したいときは、BASS EXTENSIONをONにします。

メモ

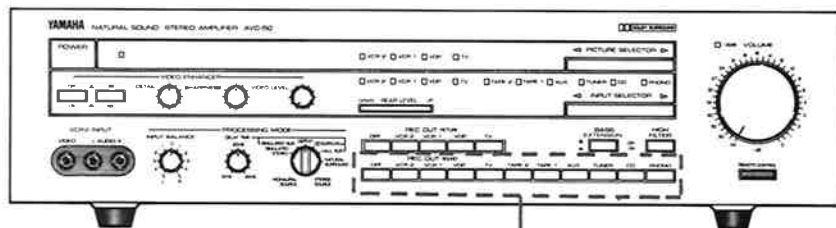
ビデオソースと異なるオーディオソースを選択するときは、先にINPUT SELECTORでオーディオソースを選び、次にPICTURE SELECTORでビデオソースを選びます。

録音のしかた

■テープデッキの録音(番号の順序で操作してください。)

本機に接続されたAV機器の録音を行ないます。ビデオデッキをオーディオデッキとして録音に使用する場合も同様の操作を行なってください。

準備 ●本機、テープデッキおよび録音したい機器の電源を入れます。



1

REC OUT SOUNDセレクトターで録音したいプログラムソースを選びます。

2

テープデッキを操作して録音レベルを調整した後、録音一時停止状態にします。

3

録音したいプログラムソースの再生と同時にテープデッキの録音を始めます。

- テープデッキ2台とビデオデッキ2台の合計4台まで同時に録音できます。
- 録音内容をモニターする(録音している音を聴く)時は、INPUT SELECTORで"TAPE 1"または"TAPE 2"(録音しているテープデッキに合わせて)を選択します。
- テープデッキの操作はテープデッキの取扱説明書を参照して行なってください。

■テープデッキのダビング

テープデッキを2台使用すると、テープからテープへダビングすることができます。

TAPE 1 → TAPE 2

テープデッキ1からテープデッキ2へダビングするときは、REC OUT SOUNDセレクトターの"TAPE 1"を押し、テープデッキ1を再生状態にし、テープデッキ2で録音します。

TAPE 2 → TAPE 1

テープデッキ2からテープデッキ1へダビングするときは、REC OUT SOUNDセレクトターの"TAPE 2"を押し、テープデッキ2を再生状態にし、テープデッキ1で録音します。

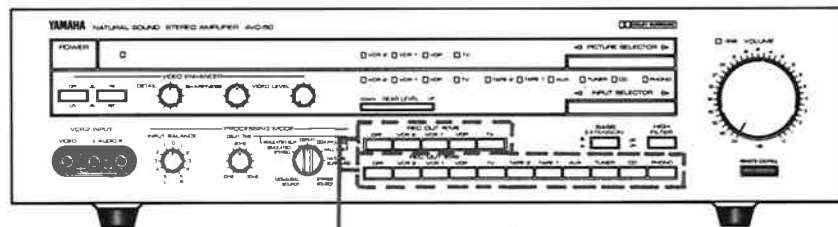
テープデッキの録音中あるいはダビング中は、REC OUT SOUNDセレクトター以外のつまみを操作しても録音には影響しません。

録画のしかた

■ビデオデッキの録画(番号の順序で操作してください。)

本機に接続されたビデオ機器の録画を行ないます。

準備 ●本機、ビデオデッキおよび録画したい機器の電源を入れます。



1

REC OUT PICTUREセレクトターとREC OUT SOUNDセレクトターで録画したいプログラムソースを選びます。

- ビデオソースと異なるオーディオソースをビデオデッキに録することも可能です。

2

ビデオデッキを操作して録画一時停止状態にします。

3

録画したいビデオソースの再生と同時にビデオデッキの録画を始めます。

- 2台のビデオデッキで同時に録画することも可能です。
- 録画内容をモニターする(録画している画面を見る)時は、INPUT SELECTORで“VCR 1”または“VCR 2”(録画しているビデオデッキに合わせて)を選択します。
- ビデオデッキの操作は、ビデオデッキの取扱説明書を参照して行なってください。
- 録画をする時は、あらかじめテスト録画を行なってください。

■ビデオデッキのダビング

ビデオデッキを2台使用すると、テープからテープへダビングすることができます。

VCR 1 ⇒ VCR 2

ビデオデッキ1からビデオデッキ2へダビングするときは、REC OUT PICTUREセレクトターとREC OUT SOUNDセレクトターの“VCR 1”を押し、ビデオデッキ1を再生状態にし、ビデオデッキ2で録画します。

VCR 2 ⇒ VCR 1

ビデオデッキ2からビデオデッキ1へダビングするときは、REC OUT PICTUREセレクトターとREC OUT SOUNDセレクトターの“VCR 2”を押し、ビデオデッキ2を再生状態にし、ビデオデッキ1で録画します。

ビデオデッキの録画、ダビング中は、次のスイッチ以外を操作しても録画には影響しません。

- VIDEO ENHANCER ON/OFFスイッチ
- PB/REC切換スイッチ
- REC OUT PICTUREセレクトター
- REC OUT SOUNDセレクトター

メモ

REC OUT PICTUREセレクトターやREC OUT SOUNDセレクトターで選択したプログラムソースを録画または録音しているときでも、別のプログラムソースをINPUT SELECTORで選んでお楽しみいただけます。

サラウンドプロセッサの使い方

(番号の順序で操作してください。)

1

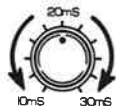
プロセッシングモードセレクターを再生するソースに合わせて切り換えます。



2

お好みに合わせてディレイタイムを調整します。

- このつまみは、PROCESSING MODEセレクターが SURROUND, HALL SUR., NATURAL SURROUNDポジションのときに効果があります。



メモ

PROCESSING MODEセレクターが、“SIMULATED STEREO”ポジションの場合は、フロント出力・プレゼンス出力ともに疑似ステレオ化します。(モノラルソース) それ以外のモードでは、フロント出力は通常のステレオ音で再生されます。

	ソ ー ス	ポ ジ ョ ン	信 号 処 理 経 路	プ レ ゼ ン ス (サ ブ) ス ピ ー カ ー 出 力
モノラルソース	映 音 画 楽	SIMULATED STEREO		くし形フィルターで帯域ごとに左右へ振り分けます。最低音は左chに、最高音は右chとなります。FRONTとは同信号となります。
	スポーツ番組	SIMULATED SURROUND		モノラルソースを遅延させたあと、くし形フィルターで、REAR L, Rへ振り分けます。テレビ、VTR等のモノラルソースでサラウンドをお楽しみいただけます。
	全てのソース	DEFEAT		オリジナルソースがそのまま出力されます。FRONTとは同信号となります。
ステレオソース	<input checked="" type="checkbox"/> DOLBY SURROUND™ マークのある映画ソフト	<input checked="" type="checkbox"/> SURROUND		ドルビーサラウンドデコーダー残響成分(差信号)を遅延させて、REAR L, Rに出力します。
	映 音 画 楽	HALL SUR.		残響成分(差信号)を遅延させて、くし形フィルターでリア左右に振り分けます。
	スポーツ番組	NATURAL SURROUND		残響成分をくし形フィルターで、REAR L, Rに振り分けます。広帯域で自然なひろがり感が得られます。

FL, FR…フロント左、右出力

PL, PR…プレゼンス(サブ)左、右出力

※ドルビーサラウンドは、本機のVOLUMEつまみを-10dB付近にしたときにSN比が最適になるように設定されています。

※SURROUND、HALL SUR、NATURAL SURROUNDのポジションでモノラルソースを再生すると、プレゼンス(サブ)スピーカーからの音は消えます。

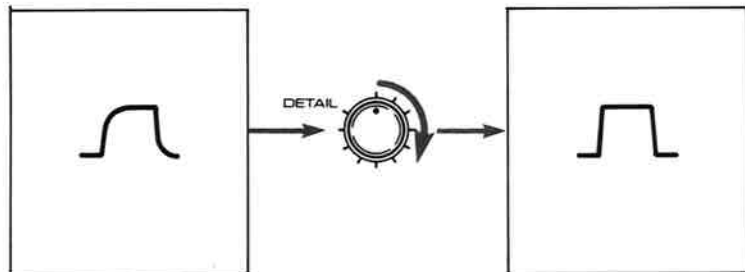
ビデオエンハンサーについて

■ビデオエンハンス効果について

ビデオテープはダビングを重ねるほど歪み、画質は極度に劣化していきます。色がボケたり、画像の細部がとんでしまったビデオテープでは、おもしろさは全く損なわれてしまいます。AVC-50は、ダビングはもちろん、再生時にも使用できるため、どんな画像でも鮮やかな画質でお楽しみいただけます。

DETAIL

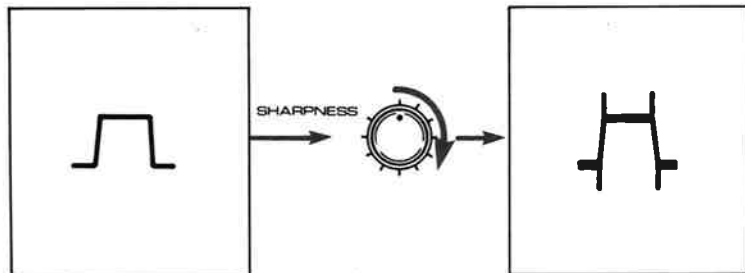
このつまみを時計方向へ回すと画像の細部が修復あるいは強調されてくっきりした画像となります。



ビデオエンハンサーの調整は、平面的な画面よりも、衣服の模様や髪の毛などで行なった方が良い結果が得られます。

SHARPNESS

このつまみを時計方向へ回すと画像のエッジが修復あるいは強調されてくっきりした画面となります。



※録画するときは、あらかじめテスト録画を行なってください。

録画中にVIDEO ENHANCER ON/OFFスイッチやPB/RECスイッチを入・切することはさけてください。


■ビデオエンハンサーの使い方


●再生時の輪郭補正(番号の順序で操作してください。)


準備 ●18ページの「ビデオソースの再生」を参照してビデオの再生を始めます。

1 VIDEO ENHANCER ON/OFFスイッチをON ■ にします。

2 PB/REC切換スイッチをPB ■ にします。

3 VIDEO LEVEL

VIDEO LEVELツマミで画面の明るさを調整します。時計方向↻へ回すと明るくなり、反時計方向↻へ回すと暗くなります。

4 DETAIL

DETAILツマミで、画像の細部の鮮明度を補正します。このツマミを時計方向↻に回すほど画像の細部が強調されます。

5 SHARPNESS

SHARPNESSツマミで画像の輪郭を補正します。このツマミを時計方向↻に回すほど画像のエッジが強調されます。

6 VIDEO ENHANCER ON/OFFスイッチをOFF ■ にして、オリジナル画像と比較します。必要に応じて各ツマミを合わせ直し、また比較するという操作をくり返します。

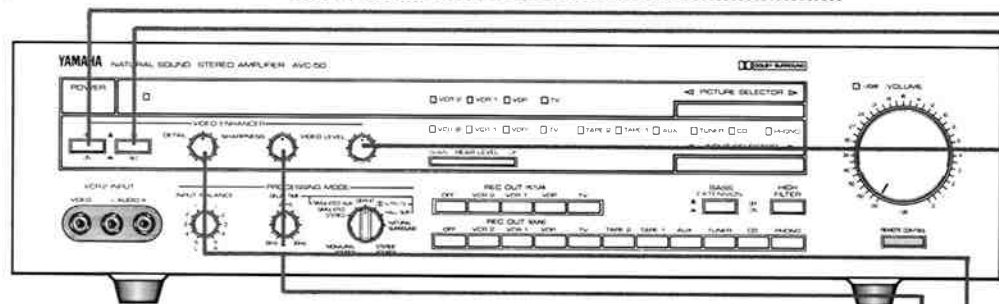
●録画、ダビング中にこのスイッチのON/OFFは、さけてください。

メモ

- ビデオエンハンサーは、強く効かせると、テレビの種類によっては垂直同期が乱れることがありますので、適正な画面になるように調整してください。
- SHARPNESSの調整は平面的な画面で行なうよりも、衣服の模様や髪の毛などで行なった方が良い結果が得られます。

●録画時の輪郭補正(番号の順序で操作してください。)

- 準備 ●REC OUT(PICTUREとSOUND)セレクターのVCR 1または2(録画する側)を押します。
- ビデオデッキの取扱説明書を参照して、録画側のビデオデッキを録画一時停止状態にします。



1 VIDEO ENHANCER ON/OFFスイッチをON にします。

2 PB/REC切換スイッチをREC にします。

3 VIDEO LEVELツマミで画面の明るさを調整します。画面を明るくしたいときは、VIDEO LEVEL ツマミを時計方向 へ回し、暗くしたいときは、反時計方向 に回します。

4 DETAILツマミで画像の細部の鮮明度を補正します。このツマミを時計方向 に回すほど画像の細部が強調されます。

5 SHARPNESSツマミで画像の輪郭を補正します。このツマミを時計方向 に回すほど画像のエッジが強調されます。

6 VIDEO ENHANCER ON/OFFスイッチをOFF にして、オリジナル画像と比較します。必要に応じて各ツマミを合わせ直し、また比較するという操作をくり返します。

●録画、ダビング時に、このスイッチのON/OFFはさけてください。

7 23ページの「録画のしかた」を参照して録画を開始します。

- シャープネス回路は、輝度信号の両側にエッジをつけて、録画時に減衰する高域の成分を補正することにより画像を鮮明にする働きがあります。
- ダビングをするときは、SHARPNESSつまみをモニターで見て最適と思われる位置よりやや低めに設定することをおすすめします。シャープネスを上げすぎますと、ダビングされた画像の色がにごったり、画像の囲りに黒い線が走ったりすることがあります。

あなたが、テレビ放送やレコード、録画物などから録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

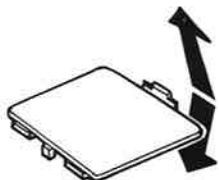
メモ

●プログラムソース自体にノイズ、ゴーストなどがある場合、エンハンサーを通すと、さらに強調される結果になります。

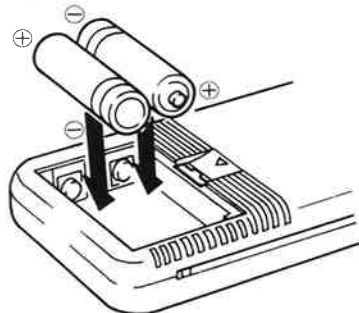
リモコンを使う前に

■電池の入れかた

①ふたをはずします。



②電池SUM-3型(単3) 2個を、 \oplus \ominus の向きを合わせて正しく入れます。



リモコンユニット裏側

③電池交換がすんだらカチッと音がするまでしめます。

■電池の交換時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。そのときは、2個とも新しい電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

乾電池も使いかたを誤ると、液もれや破裂などの危険があります。次の点については、特にご注意ください。

電池の交換のときは

- プラス(\oplus)とマイナス(\ominus)の向きを、電池ケース内の表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。

充電について

- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。

リモコンをお使いになる上で

- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 消耗してきた電池は、早めに交換してください。

万一の事故を防ぐために

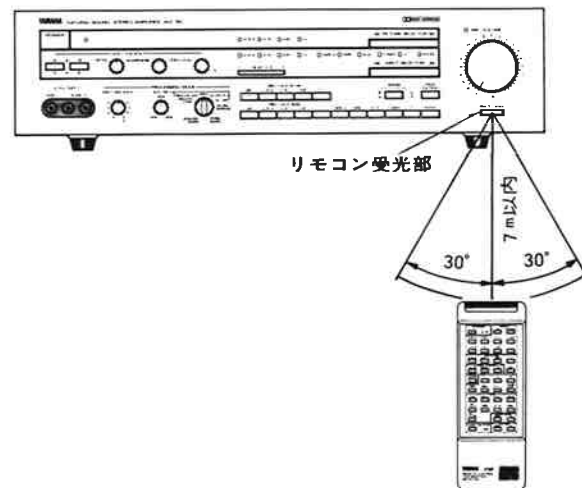
- 分解や加熱をしたり、火の中に入れてたりしないでください。また、捨てるときは、燃えないゴミとして捨ててください。
- \oplus と \ominus を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。

液もれがおこったときは

電池ケースについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

リモコンについてのご注意

リモコンの使用範囲は



リモコンが動作しなくなったら…

電池が消耗していることがあります。新しい電池に取り換えてみてください。また、AVC-50の電源コードがコンセントに継っているかもお確かめください。

付属のリモコンは…

本機およびRSマーク付ヤマハ製品が操作できます。それ以外の機器に使用すると、動作しなかったり、誤動作をおこすことがあります。

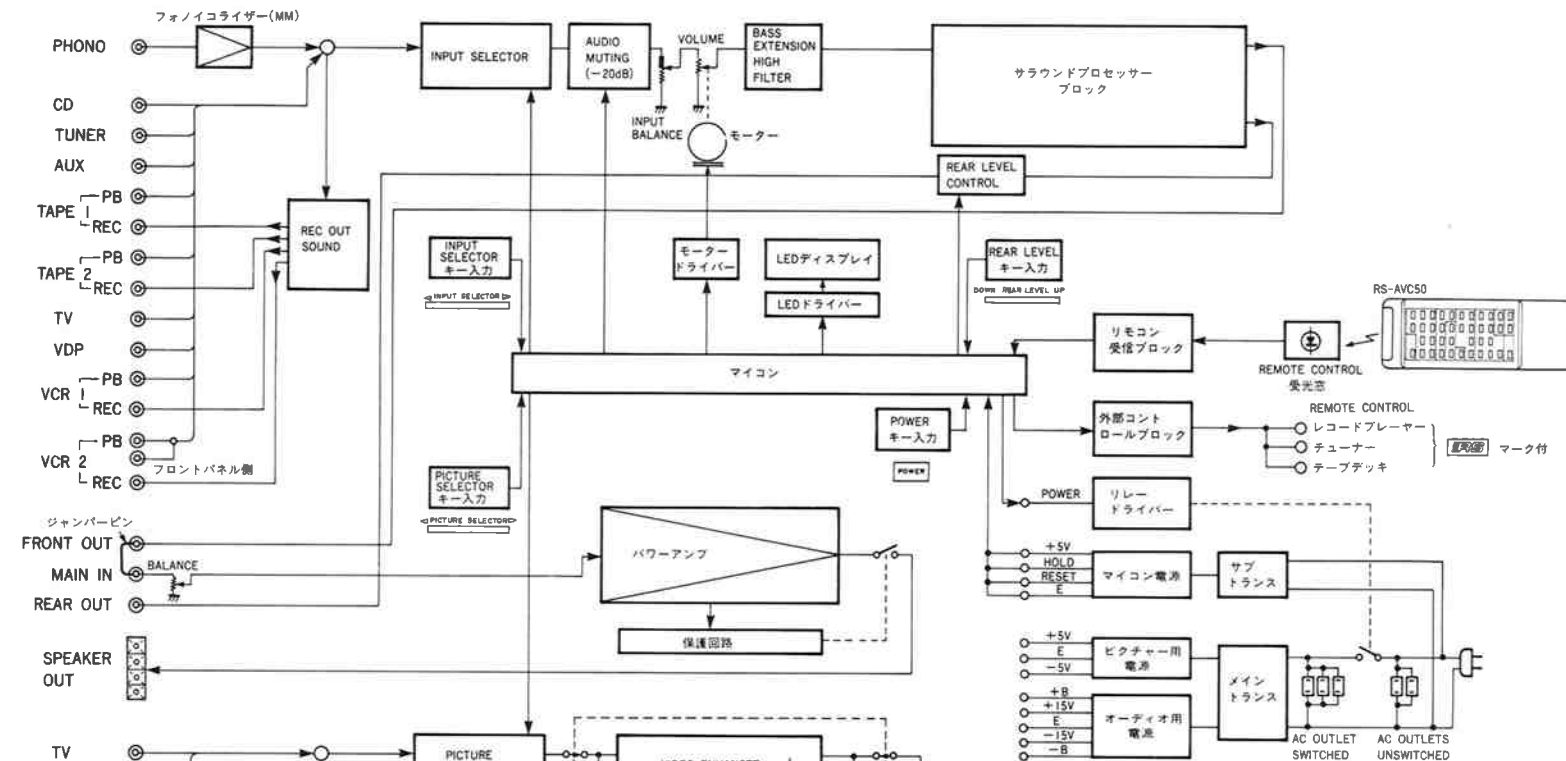
ていねいに扱ってください。

お茶や水をこぼしたり、強くたたいたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高い所にも置かないようにご注意ください。

リモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、働きにくくなります。

ブロックダイアグラム



■サラウンドプロセッサーブロック

POSITION	SIGNAL PROCESSING
SIMULATED STEREO	
SIMULATED SURROUND	
DEFEAT	
□ SURROUND	
HALL SURROUND	
NATURAL SURROUND	

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源が入らない	電源プラグがコンセントからはずれている	しっかり差込んでください
INPUT SELECTORを切り換えても再生音が出ない	ピンプラグが確実に差し込まれていない 付属のモノラル↔ステレオ変換コードが正しく接続されていない	ピンプラグをしっかりと差し込みなおしてください 正しく接続しなおしてください
プレゼンス(サブ)スピーカーから音が出ない	REAR LEVELコントローラーの音量調整が行なわれていない 入力ソースがモノラルで、PROCESSING MODE セレクターが <input type="checkbox"/> SURROUNDのポジションになっている	REAR LEVELコントローラーで音量調整を行なってください (※7ページ) PROCESSING MODE セレクターを他のポジションにしてお楽しみください
左右いずれかのスピーカーから音が出ない	リアパネルのBALANCEつまみがLかRのどちらかにずれている 片方のスピーカーコードがはずれている	BALANCEつまみを調整しなおしてください (※10ページ) スピーカーコードを正しく接続しなおしてください (※18ページ)
低音のない不自然な再生音で、音像が定位しない	本機とスピーカーの極性(+、-)が合っていない	本機のSPEAKER端子と、スピーカーの極性(+、-)を正しく接続しなおしてください
VOLUMEをあげても音量があまり大きくならない	AUDIO MUTINGスイッチが働いている	一度、音量を下げ、リモコンユニット(RS-AVC50)のAUDIO MUTINGを押して、VOLUMEつまみで再調整してください
レコードプレーヤーの再生音が小さい	MCカートリッジ付レコードプレーヤーを接続している	MCカートリッジをお使いになるには、MCヘッドアンプを使用するか、MCポジション付のプリメインアンプをお使いください
ビデオエンハンサーが効かない	VIDEO ENHANCER ON/OFFスイッチがOFFになっている	VIDEO ENHANCERスイッチをONにします
ビデオエンハンサーを効かせると画面が左右に乱れる	テレビモニターによっては、ビデオエンハンサーを強く効かせると画面が左右に乱れることがあります	ビデオエンハンサーを画面が乱れないように調整しなおします
オーディオシステムにノイズが出る	モニターがすぐ近くにセットされている	モニターとオーディオシステムを離してセットしてください
テレビの画面にしま模様が出る	テレビのアンテナ線とオーディオ関係のコード類がからみ合っている	アンテナ線と他のコード類がからみ合わないよう接続しなおしてください
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している リモコン操作の距離、角度が適切でない	電池を交換してください 7m以内、30°以内で操作してください
リモコンを操作するとテレビが誤動作する	ワイヤレスリモコン機能をもつテレビを使用している場合 テレビが本機のそばにセットされている	テレビと本機を離してセットするかテレビのリモコン受光部におおいをしてください

参考仕様

■オーディオセクション

定格出力	
20Hz~20kHz 0.05% THD, 6Ω	50W+50W
1kHz トーンバースト 10% THD, 6Ω	85W+85W
ダンピングファクター	
1kHz 8Ω	80以上
入力感度/入力インピーダンス	
PHONO MM	2.5mV/47kΩ
AUX/TAPE/TUNER	150mV/47kΩ
MAIN IN	500mV/47kΩ
最大許容入力	
1kHz, 0.01% THD, PHONO MM	140mV
出力電圧/出力インピーダンス	
REC OUT	150mV/470Ω
FRONT, REAR	500mV/1kΩ
最大出力	
20Hz~20kHz 0.05% THD, FRONT, REAR	7V
周波数特性(20Hz~20kHz)	
AUX, TAPE, TUNER, MAIN IN	0±0.5dB
RIAA偏差	
20Hz~20kHz, PHONO MM	±0.5dB
全高調波歪率(20Hz~20kHz)	
PHONO MM→REC OUT (1V)	0.005%
AUX, TAPE, TUNER→FRONT, REAR→PRE OUT (3V)	0.005%
MAIN IN→SPEAKER (25W/8Ω)	0.05%
SN比(IHF Aネットワーク, 入力ショート)	
PHONO MM (2.5mV)→REC OUT	82dB
AUX, TAPE, TUNER → FRONT	103dB
↳ REAR	84dB
MAIN IN	108dB
残留ノイズ(IHF Aネットワーク)	
SPEAKER OUT	150μV

チャンネルセパレーション(1kHz, Vol -30dB)	
PHONO MM (ショート)	65dB
AUX, TAPE (5.1kΩ)	55dB
フィルター特性	
ローフィルター	15Hz 12dB/oct
ハイフィルター	10kHz 12dB/oct
オーディオミューティング	-20dB

■ビデオセクション

テレビジョン方式	日米標準方式 525本 60フィールド
定格入力	1.0V _{P-P} 75Ω
定格出力	1.0V _{P-P} 75Ω
許容入力	1.5V _{P-P} 75Ω
S/N比	50dB
DETAILコントロール	0~+4dB (1MHz)
SHARPNESSコントロール	0~+7dB (2MHz)
VIDEO LEVELコントロール	-3~+3dB

■総合仕様

定格電源電圧, 周波数	AC100V, 50/60Hz
定格消費電力	118W
ACアウトレット	
SWTCHED×3	300Wmax.
UNSWTCHED×2	200Wmax.
外形寸法(W×H×D)	435×111×306mm
総重量	6.7kg

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお得です。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●症状は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。
※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道 〒065 札幌市東区本町1条9-3
TEL(011)781-3621

仙台 〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL(0222)36-0249

東京 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL(044)434-3100

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F
TEL(0252)43-4321

浜松 〒435 浜松市上西町911番地 日本楽器宮竹工場内北側
TEL(0534)65-6711

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
日本楽器名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230

大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内
TEL(06)877-5262

四国 〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内
TEL(0878)22-3045

広島 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39
TEL(082)874-3787

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL(092)472-2134

■ステレオ営業所

北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内
TEL(011)512-6115

仙台 〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉通りビル
TEL(0222)23-3101

東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
TEL(03)255-6767 (03)255-5691 (03)255-2201
(03)255-1825

横浜 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL(044)434-4871

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 ヤマハ新潟センター内
TEL(0252)41-2084

千葉 〒260 千葉市千葉港2-1 千葉中央コミュニティーセンター内
TEL(0472)47-6622

水戸 〒310 水戸市宮町1-3-38-5
TEL(0292)24-7774

高崎 〒370 高崎市連雀町75 ヤマハ高崎月販内
TEL(0273)27-3322

静岡 〒422 静岡市緑ヶ丘町1-15 緑ヶ丘ビル48
TEL(0542)85-4878

浜松 〒430 浜松市鍛冶町321-6
TEL(0534)56-4461

名古屋 〒464 名古屋市中千種区東山通5-65
ヤマハ東山センター3F TEL(052)782-7551

北陸 〒920 金沢市本町2-7-1 ヤマハ金沢ショップ内
TEL(0762)21-2166

関西 〒556 大阪市浪速区数津東 1-9-16 ヤマハなんば
センター内 TEL(06)647-6411

中国 〒730 広島市中区八丁堀10-14
TEL(082)221-4123

四国 〒760 高松市丸亀8-7 ヤマハビル7F
TEL(0878)22-8642

北九州 〒803 北九州市小倉区堅町2-3-13

ヤマハ小倉センター内 TEL(093)592-3122

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL(092)472-2131

■ヤマハオーディオ日本楽器直営店

札幌店 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目
ヤマハセンター TEL(011)512-6126

仙台店 〒980 仙台市一番町2-6-5
TEL(0222)27-8517

銀座店 〒104 東京都中央区銀座7-9-14
TEL(03)572-3133

浜松店 〒430 浜松市鍛冶町321-6
TEL(0534)54-4327

名古屋店 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL(052)201-5153

心斎橋店 〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39
TEL(06)211-8869

神戸店 〒650 神戸市中央区元町2-7-3
TEL(078)391-7651

海外拠点 ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・
スウェーデン・シンガポール・フィリピン

日本楽器製造株式会社
〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部
ステレオ事業部国内営業部 TEL.(0534)60-3421
管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

